

**製品名: CD215 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82286**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	28.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD215
別名	IL15RA
遺伝子 ID	3601.0
SwissProt ID	Q13261
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD215 (AA: 追加 31-205) の精製された組み換え断片。

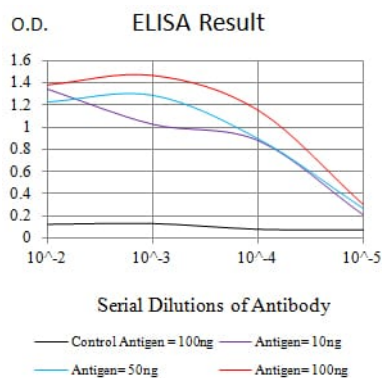
**背景**

この遺伝子は、インターロイキン 15 (IL15) に特異的に高親和性で結合するサイトカイン受容体をコードしています。IL15 と IL2 の受容体は、IL2R ベータと IL2R ガンマという 2 つのサブユニットを共有しています。これが、IL15 と IL2 の多くの重複する生物学的活

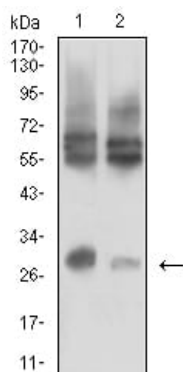
性の基盤となっています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、IL2R アルファと構造的に関連しています。IL2R アルファは、高親和性の IL2 結合に必要な IL2 特異的  $\alpha$  サブユニットです。IL2RA とは異なり、IL15RA は他のサブユニットとは独立して IL15 に高親和性で結合できるため、IL15 と IL2 の間には異なる役割があることが示唆されています。この受容体は、細胞増殖を促進し、アポトーシス抑制因子である BCL2L1/BCL2-XL および BCL2 の発現を増強することが報告されています。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2010年4月]

## 研究分野

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



LOVO (1) および HCT116 (2) 細胞溶解物に対する CD215 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。